

問 グルービー縦の木公園の 課題は

答 駐車場増設の可否を検討開始



新政とうかい
かわさき かつひこ
川崎 克彦 議員

問 開園から1カ月経過後の現在の課題認識は何か。

答 主に休日に公園利用者や周辺道路への路上駐車や近隣商業施設への駐車により迷惑をかけている状況を認識している。また、公園内の日陰が少ないこと、水飲み場の水がはげにくいことなどの意見を確認している。

問 公園の利用者、近隣住民、近隣商業施設、イベント主催団体、ひたちなか警察署および東海村消防署から聞き取った意見に基づき、路上駐車や近隣商業施設への駐車防止対策、



令和6年4月29日に開園した「グルービー縦の木公園」

答 路上駐車防止や駐車場不足について非常に大きな課題と認識している。公園周辺の場所で新たな駐車場の増設の可否を検討している。

問 緊急対応として公園近隣に仮駐車場を設置し、恒久的には公園西側を整理して駐車場にすることを提案する見解は。

答 路上駐車を抑制するための注意看板の設置や公園周辺に駐車場を増設できないか検討を開始した。

駐車場増設の見解は。

問 子どもと高齢者の口腔ケアは

答 様々な場面で施策を展開中



新政とうかい
みかみ おさむ
三上 修 議員

問 村民に対する口腔衛生の指導や施術は、健康年齢の延伸に効果が高い予防医療とされ、将来の健康保険費用を抑制できることから広く普及が望まれる。本村の施策は何か。

答 村では1歳6カ月児、2歳6カ月児、3歳6カ月児に歯科医師診察と指導を実施し、さらに、2歳6カ月児の歯科健康診査は、村内歯科医療機関を受診して、フッ化物塗布を行っている。

また、令和3年度から公立幼稚園2園でフッ化物洗口を開始し、今年度は公立幼稚園、

保育所、こども園全ての施設で実施中。高齢者の口腔衛生施策は、地域の集いの場に参加している方々を対象に、歯科衛生士によるフレイル予防の歯周病対策や口腔衛生の講話を実施している。

問 フッ化物の口腔ケアは歯科医院で行うことが望ましいが、小学生への対策は何か。

答 有効とされるフッ化物の口腔衛生対策は、保護者や児童にその有効性を正しく理解いただき、歯科医院の塗布などにつなげる。



歯科医院の口腔ケア